

科目名	国語	英語科目名	Japanese	
開講年度・学期	平成28年度通年	対象学科・専攻・学年	電気電子創造工学科（LR） 3年 建築学科 3年	
授業形態	講義	必修 or 選択	必修	
単位数	2単位	単位種類	履修単位	
担当教員	田中 仁	居室（もしくは所属）	テクノ棟3階	
電話	内線170	E-mail	jin-tanaka@小山高専ドメイン	
授業の到達目標	授業の到達目標との対応			
		小山高専の教育方針	学習・教育到達目標(JABEE)	JABEE 基準
	1 日本語の特質を理解し、適切な運用と表現ができる。	①		
	2 日本語表現に関する知識を身につけ、実践に活かすことができる。	⑥		
	3 文章を客観的に分析し、その長所短所を見極めることができる。	②		
4 自らすすんで言語コミュニケーション能力を向上させる努力ができる。	⑥			
各到達目標に対する達成度の具体的な評価方法				
・中間試験（前・後期）、期末試験、小テスト、発表や各種課題の提出物、授業への取り組みの積極性等によって総合的に評価する。				
評価方法				
・前期試験（2回）および後期試験（1回）の平均点を50％程度、後期発表（ディベート）を30％程度、小テスト・提出物・授業への取り組みの積極性等を20％程度で総合的に評価する。また、漢検や各種作文コンクールへの積極的な参加についても、その内容に応じて評価に加味する。				
授業内容				
1. ガイダンス 自己の分析と表現 ネガ/ポジ ことばの言い換え	16. 文章をととのえる①名文・悪文			
2. 日本語とは何か① 表記・文法、国語常識の演習①	17. 文章をととのえる②話し言葉を書き言葉に			
3. 日本語とは何か② 音声・コミュニケーション、演習②	18. 文章をととのえる③言い切り型の文章			
4. 論理的文章の読解トレーニング①、演習③	19. 文章をととのえる④主述の呼応・接続詞			
5. 論理的文章の読解トレーニング②、演習④	20. 文章をまとめる①要旨（要約文）			
6. 論理的文章の読解トレーニング③、演習⑤	21. 文章をまとめる②段落・文章構成			
7. 朗読の読み聞かせ	22. 文章表現の実践① 自己アピール文・志望動機文			
8. 前期中間試験	23. 後期中間試験			
9. 試験答案の返却および解説、演習⑥	24. 試験答案の返却および解説 文章表現の実践② 通信文・履歴書			
10. 日本語とは何か③ 助詞・助動詞、演習⑦	25. ディベート（4対4）①			
11. 日本語とは何か④ 敬語、演習⑧	26. ディベート（4対4）②			
12. 論理的文章の読解トレーニング④、演習⑨	27. ディベート（4対4）③			
13. 論理的文章の読解トレーニング⑤、演習⑩	28. ディベート（4対4）④			
14. メモスピーチ①	29. ディベート（4対4）⑤			
15. メモスピーチ② （前期末試験）試験答案の返却・解説	30. ディベート（4対4）⑥ 提出物などの返却および評価			
キーワード	日本語、日本語学、文章表現、コミュニケーション、伝え合う力、国語常識			
教科書	「国語表現」（京都書房）、「パスポート国語必携 三訂版」（桐原書店）、「Sメソッドによる伝え合う力のトレーニング」（オリジナル教材）			
参考書	授業時に適宜紹介する。			
カリキュラム中の位置づけ				
前年度までの関連科目	国語			
現学年の関連科目	なし			
次年度以降の関連科目	文学			
連絡事項				
「日本語とは何か」という原理的な問題からはじまり、日本語表現や日本語の実践的な運用、言語コミュニケーションについて学ぶ授業です。普段、ほとんど意識せずに使っている「ことば」について、冷静に見つめ直す機会になればと思っています。社会人や技術者として身につけておきたい言語能力を養いましょう。授業に出席するのはもちろんのこと、皆さんの積極的な参加に期待しています。なお、課題（提出物）の提出の有無は評価に関わりますので、十分に注意すること。授業中の携帯電話やスマートフォン等の操作や授業の妨げとなる行為は厳禁とします。				
シラバス作成年月日	平成28年2月25日作成			